

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 社会保険労務士 荻生労務研究所

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。
 (様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																				
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		雇用・教育・昇進・登用・福利厚生などあらゆる雇用条件・職場環境において、差別しない体制・運営を行っている。 クライアントへの就業規則・ハラスメント防止体制の構築を通し、差別や人権侵害を起こさない体制づくりを行っている。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5							8.5 8.7 8.8	10.2 10.3							16.1 16.2 16.7	
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		業務負担の偏りによる過重労働・過重負荷が起こらないよう、受任案件の平準化のための案件共有、情報交換の環境を整備している。 メンタルヘルスを確保するため、代表と従業員の間での対話ができる環境を整備している。			3									8.8									
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		同一労働同一賃金の考え方(ガイドラインを含む。)に基づき、待遇を決定している。					5.5								8.5	10.2 10.3							
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		勤怠管理システムによる業務時間の管理を行い、時間外労働の抑制および年次有給休暇の取得状況を把握、ワーク・ライフバランスの確保に努めている。 オンラインでの案件やノウハウの共有・情報伝達を進め、育児や介護、療養などによる緊急的な休暇も円滑に取れる体制をとっている。			3		5.5							8.5 8.8	10.3								
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		社労士会および外部社労士・専門家の勉強会・研修会への出席を奨励するとともに、オンラインで受講できるサービスを導入している。 必要な資格取得、研修についての費用負担、特別休暇の制度を設けている。				4	5.5								8	9							
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上に取り組んでいる。	●		健康診断の費用やその間の給与については、事業主の負担において行っている。 予防接種への経費補助を行っている。			3										8							17	
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		テレワークを可能とし、女性、外国人、障がい者、高齢者等が自らの体調・状況に応じ活躍できる体制を整えている。また、自社のダイバーシティの実践を、クライアントにも展開していく。 性的少数者の労働参画に向けた支援に、取り組んでいる。				4.4	5.1 5.5							8.5	10.2 10.3						16.7		
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。	●		オンライン会議、チャットツールおよびクラウドツールを積極的に導入し、出社および来店不要でも業務に支障の無い体制を構築する。			3										8	9.1		11	12				
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●		各従業員に対して一人一台のパソコン、タブレットの配布を行い、オンライン上で業務が完結する体制を構築する。 【予定】2022年10月までに、業務支援のICT・AIツールを積極的に導入し、従業員間の案件・情報の共有および効率化に取り組んでいく。													8	9.1		11	12				
	21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。	●					3	4									8	9			12				

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 社会保険労務士 荻生労務研究所

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。
 (様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																						
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17						
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		業務フローの全てにおいて、オンライン化を進め、紙の使用量削減を進めている。 廃棄物の分別回収を徹底している。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1								
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		通勤は公共交通機関の利用を推進する。業務においてはオンライン会議、チャットツール等を導入し、対面以上の付加価値をつけたオンライン面談を進め、車での移動回数・距離を削減。1人あたりのガソリン使用量を削減する。 【予定】2022年10月までに月当たりのガソリン使用量を2割削減							7.3						13										
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		LEDや省電力のパソコン・OA機器の導入を行うとともに、省電力設定での利用を行う。時間外労働の抑制を進め、冷暖房・照明などのエネルギー削減に取り組む。オンライン面談やチャットツールの活用により長距離の出張を抑制する。 【予定】2022年10月までに、自社の温室効果ガス排出量、削減量の把握を数値化する。			2.4										12.4	13	14	15							
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		廃プラスチックやレジ袋などの使用削減に努めている。 環境に配慮した材料・製品・サービスの利用を進めている。						6.6									14	15							
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		業務のオンライン化・電子申請を進め、紙使用量の削減を行う。 クライアントおよび行政とのやり取りについては、オンラインFaxおよび電子申請、ストレージサービスによるデータでのやり取りを推進していく。											9.4			12.2	12.4	12.5	14.1	15					
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		節水および、汚水等の適切な処理を、定期的に社内で開催していく。			2.4				6.1 6.3 6.4 6.6							11.5		14.1	14.2	14.3	15	17			
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		再生紙ノート・ファイルなどのリサイクル品・グリーン購入法及びエコマーク適合品の購入、利用を推進している。 購入物の簡易包装、置き配の推進に取り組んでいる。														9.4		12.4	12.5	13	14	15			
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。		●			1	2				6.4									12.3		14	15		17		
	30	【緑の保安全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。		●																	11.6	11.7		13.1	13.3	15		17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。		●																	7.1 7.2 7.3 7.a	9.4	11.5		13.1	13.3		
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・”伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。		●									6								9.4	11.3	11.4	11.5	12.2	13		15
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。		●									6.1 6.3 6.6									11.3	11.4	11.5	12.2	13		15
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。		●																				12.2	12.5		14	
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。		●		通勤においては、公共交通機関の利用を推進している。 在宅勤務やコワーキングスペースの導入による、通勤機会・負担の削減に取り組んでいる。														9.4		11.2			13.1	13.3		
36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。		●																		7.1 7.2 7.3 7.a	9.4	11.6	11.a	12.8	13		17.2

